

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 23 / 聖句等の総数 33250 (三分の一)37個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 三分の一]
K 民数記	15:6 雄羊の場合には、十分の二エファの上等の小麦粉に三分の一ヒンのオリーブ油を混ぜた穀物の献げ物と、	
K 民数記	15:7 三分の一ヒンのぶどう酒をぶどう酒の献げ物として主にささげて、宥めの香りとする。	
K 民数記	28:14 それに添えるぶどう酒の献げ物は、雄牛一頭についてぶどう酒二分の一ヒン、雄羊一匹について三分の一ヒン、小羊一匹について四分の一ヒンとする。以上が一年を通じて毎月ささげる焼き尽くす献げ物である。	
K サムエル記下	18:2 次いでダビデは兵士を三部隊に分け、三分の一をヨアブの指揮下に、三分の一をツェルヤの子、ヨアブの弟アビシャイの指揮下に、三分の一をガト人イタイの指揮下においた。ダビデ王は兵士に言った。「わたしもお前たちと共に陣する。」	
K 列王記下	11:5 こう命じた。「あなたたちがなすべきことはこれである。あなたたちのうち、安息日が出番に当たる者の三分の一は王宮の警備に就き、	
K 列王記下	11:6 ほかの三分の一はスルの門に詰め、残る三分の一は近衛兵の背後の門に詰め、こうしてあなたたちは交代で王宮の警備に当たれ。	
K 歴代誌下	23:4 あなたたちがなすべきことはこれである。あなたたちのうち、祭司もレビ人も、安息日が出番に当たる者の三分の一は門衛となり、	
K 歴代誌下	23:5 三分の一は王宮の中に、三分の一は礎の門にいななければならない。民は皆、主の神殿の庭にとどまれ。	
K ネヘミヤ記	10:33 わたしたちは、神殿での奉仕のために年に三分の一シェケルの納入を義務として負う。	
K エゼキエル書	5:2 その三分の一は包圍の期間が終わったときに都の中で火で燃やし、ほかの三分の一は都の周りで剣で打ち、残り三分の一は風に乗せて散らさない。わたしは剣を抜いてその後を追う。	
K エゼキエル書	5:12 お前の中で三分の一は疫病で死んだり、飢えで息絶えたりし、三分の一は都の周りで剣にかけられて倒れ、残る三分の一は、わたしがあらゆる方向に散らし、剣を抜いてその後を追う。	
K エゼキエル書	46:14 あなたは、朝ごとにそれに添えて穀物の献げ物をささげねばならない。すなわち、朝ごとに上等の小麦粉六分の一エファと、それに振りかける油三分の一ヒンである。これは、主にささげる穀物の献げ物であり、変わることはない永遠の掟である。	
K ゼカリヤ書	13:8 この地のどこでもこうなる、と主は言われる。三分の二は死に絶え、三分の一が残る。	
K ゼカリヤ書	13:9 この三分の一をわたしは火に入れ／銀を精錬するように精錬し／金を試すように試す。彼がわが名を呼べば、わたしは彼に答え／「彼こそわたしの民」と言い／彼は、「主こそわたしの神」と答えるであろう。	
S ヨハネの黙示録	8:7 第一の天使がラツパを吹いた。すると、血の混じった雹と火とが生じ、地上に投げ入れられた。地上の三分の一が焼け、木々の三分の一が焼け、すべての青草も焼けてしまった。	
S ヨハネの黙示録	8:8 第二の天使がラツパを吹いた。すると、火で燃えている大きな山のようなものが、海に投げ入れられた。海の三分の一が血に変わり、	
S ヨハネの黙示録	8:9 また、被造物で海に住む生き物の三分の一は死に、船という船の三分の一が壊された。	
S ヨハネの黙示録	8:10 第三の天使がラツパを吹いた。すると、松明のように燃えている大きな星が、天から落ちて来て、川という川の三分の一と、その水源の上に落ちた。	
S ヨハネの黙示録	8:11 この星の名は「苦よもぎ」といい、水の三分の一が苦よもぎのように苦くなって、そのために多くの人が死んだ。	
S ヨハネの黙示録	8:12 第四の天使がラツパを吹いた。すると、太陽の三分の一、月の三分の一、星という星の三分の一が損なわれたので、それぞれ三分の一が暗くなって、昼はその光の三分の一を失い、夜も同じようになった。	
S ヨハネの黙示録	9:15 四人の天使は、人間の三分の一を殺すために解き放された。この天使たちは、その年、その月、その日、その時間のために用意されていたのである。	

	タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 三分之一]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数 : 23 / 聖句等の総数 33250 &lt;三分之一&gt;37個]</p>
S	ヨハネの黙示録	9:18 その口から吐く火と煙と硫黄、この三つの災いで人間の三分之一が殺された。
S	ヨハネの黙示録	12:4 竜の尾は、天の星の三分之一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちはだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。